

WINギャラップ・インターナショナル・アソシエーション国際世論調査
「エンド・オブ・イヤーサーベイ2016」
69か国グローバル調査

調査結果

株式会社 日本リサーチセンター

◆「エンド・オブ・イヤーサーベイ」レポート

株式会社日本リサーチセンター（本社：東京都中央区、代表取締役社長 鈴木稲博）が加盟しているWIN/ギャラップ・インターナショナル・アソシエーションでは、昨年9月から12月にかけて世界69カ国の人々を対象に国際世論調査「エンド・オブ・イヤーサーベイ」を実施しました。

この度、その調査結果がリリースされましたので、日本の属性別調査結果を加えて、日本版レポートを発表いたします。ご覧いただければ幸いです（2017年3月9日更新のWIN/ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション事務局資料よりレポート作成）。

注1：比率（％）は、各国の人口に比例した重みを付けて集計を行っています（ウエイト集計）

注2：比率（％）は、四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならないところもあります

◆WIN/ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション

1947年にジョージ・ギャラップ氏とヨーロッパの仲間によって設立され、チューリッヒに本部があります。現在世界の80カ国以上でメンバーを持ち、100カ国以上の国々で世論調査や市場調査を実施しています。
※なお、米国調査会社Gallup, Inc.とは関係ございません。

◆日本リサーチセンター（NRC）

1960年に設立された民間の調査研究機関です。
民間企業、官公庁からの受託調査・研究及び自主企画調査を国内外問わず実施しています。
WIN/ギャラップ・インターナショナル・アソシエーションには日本代表として1968年に加盟しました。

1) 2017年が2016年より「良くなる」は、世界全体で41%、日本では20%

- 2017年が2016年より良くなるかどうか質問した結果は、日本では、「変わらない」と答えた割合が41%と多く、「良くなる」は20%と少ない。
- 世界全体では、「良くなる」と答えた割合が41%で最も多い。
- 世界と比較すると、日本の回答は、「良くなる」と「悪くなる」が少なく、「変わらない」と「わからない」が多くなっている。
- そのため、「良くなる」と「悪くなる」の差は、世界では差が大きく、「良くなる」が「悪くなる」を20ポイント近く上回るが、日本は7ポイントと小さい。

2) 2017年が2016年より「景気が良くなる」は、世界全体で29%、日本では8%

- 自国の2017年の景気が2016年より良くなるかどうか質問した結果は、日本では「景気は良くなる」と答えた割合が8%に留まる。
- 世界全体では、「景気は良くなる」「変わらない」「景気は悪くなる」のいずれも3割前後で、景気予想は拮抗している。
- 世界と比較すると、日本では「わからない」の割合が20ポイント近く多く、また「変わらない」も10ポイント多い。
- 「良くなる」と「悪くなる」の差は、世界では差が小さく-2ポイントだが、日本では-17ポイント。

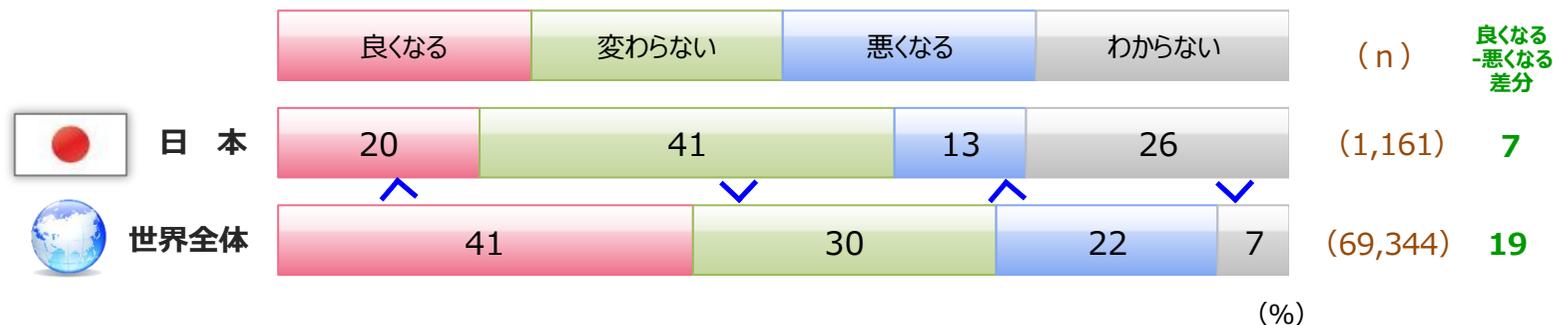
3) 自分の人生が「幸せ*」と感じる人は、日本も世界全体も6割程度。 *幸せ：「とても幸せ」と「幸せ」の計

- 自分の人生が幸せかどうかを質問した結果は、日本も世界全体も「幸せ*」が約6割で大差がない。
- 日本では、良い年の見通しや景気予想についてはポジティブな回答が少なかったが、幸せ感では約6割がポジティブな回答を示した。

2017年が2016年より「良くなる」は、世界全体で41%、日本では20%

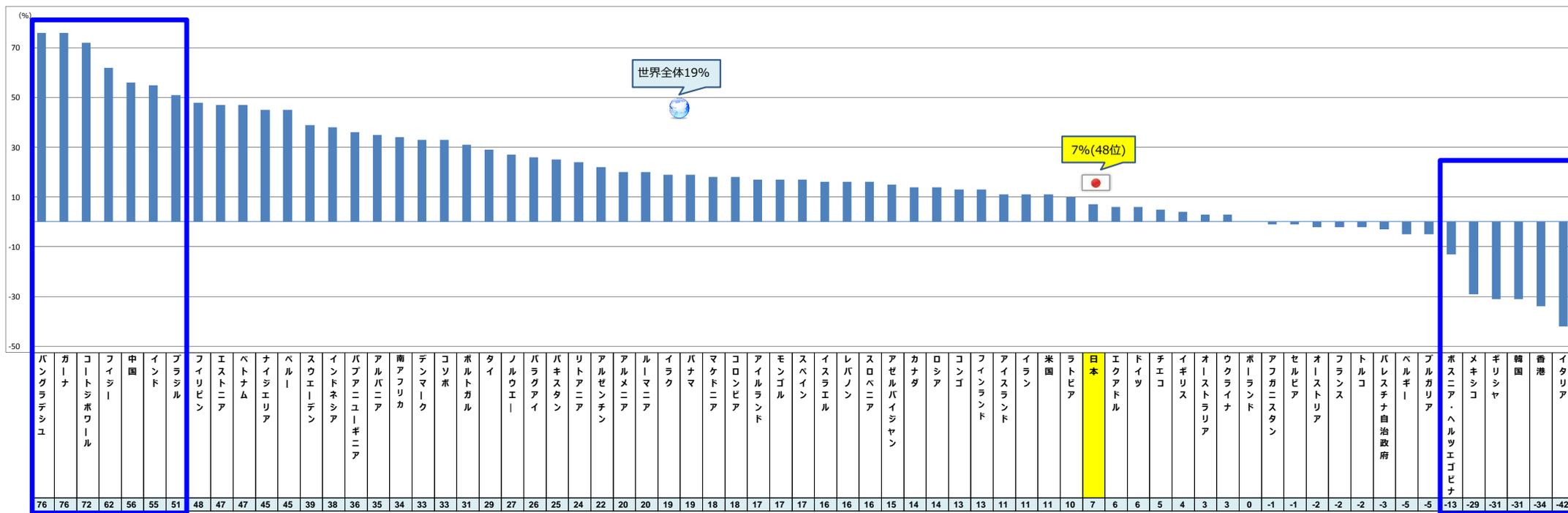
- 2017年が2016年より良くなるかどうか質問したところ、日本では、「変わらない」と答えた割合が41%と多く、「良くなる」は20%と少ない。
- 世界全体では、「良くなる」と答えた割合が41%で最も多い。
- 世界と比較すると、日本の回答は、「良くなる」と「悪くなる」が少なく、「変わらない」と「わからない」が多くなっている。
- そのため、「良くなる」と「悪くなる」の差は、世界では差が大きく、「良くなる」が「悪くなる」を20ポイント近く上回るが、日本は7ポイントと小さい。

Q あなたご自身は、2017年は2016年より「良い年になる」、「悪い年になる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。(単数回答)

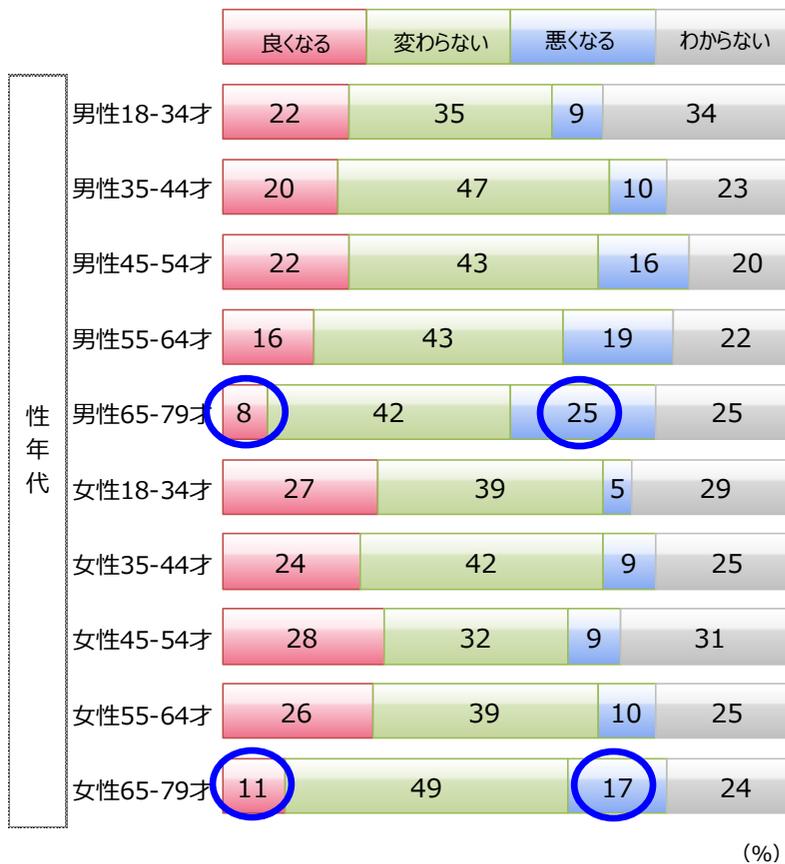
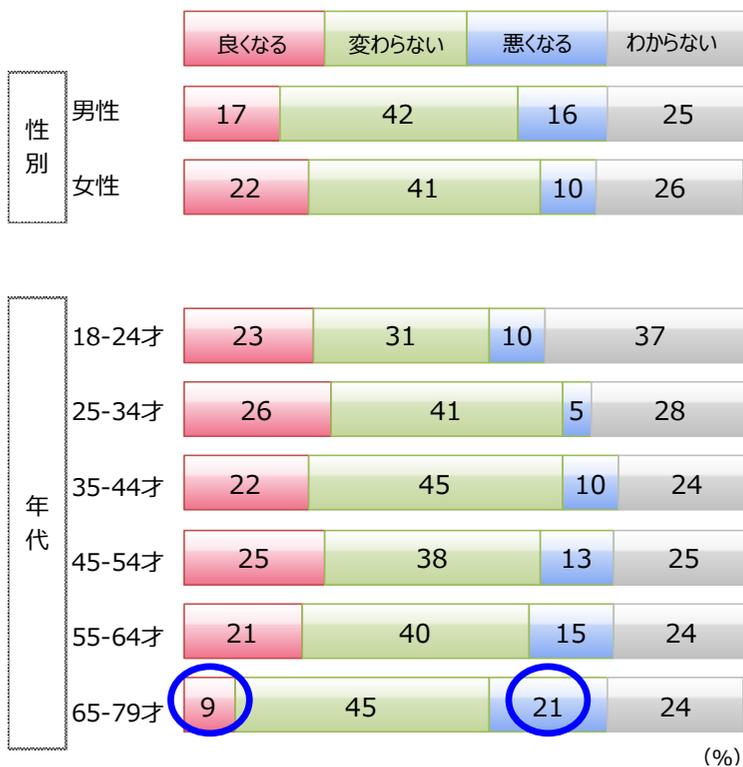
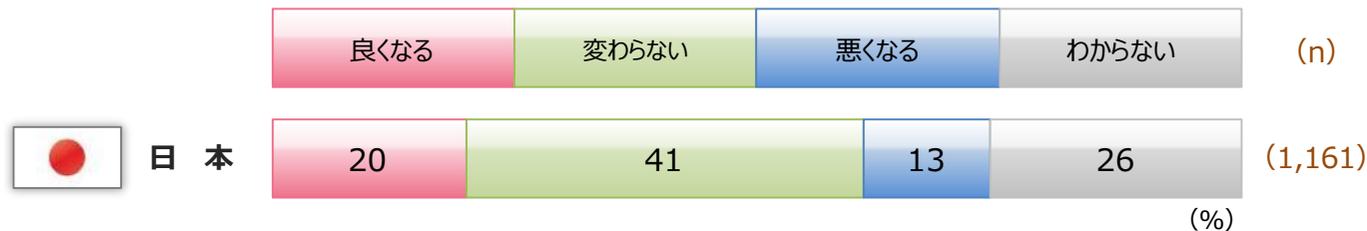


- 2017年が2016年より「良くなる」と「悪くなる」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、上位7位の国は、バングラディシュ、ガーナ、コートジボワール、フィジー、中国、インド、ブラジルの順。一方、下位6位の国は、イタリア、香港、韓国、ギリシャ、メキシコ、ボスニアヘルツェゴビナとなっている。
- 日本は69か国中48位。

■ 各国の「良くなる」-「悪くなる」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）



● 日本の結果を年代別にみると、65歳以上が、他の年代に比べて「良くなる」の割合が少なく、「悪くなる」の割合が多い。



2017年が2016年より「景気が良くなる」は、世界全体で29%、日本では8%

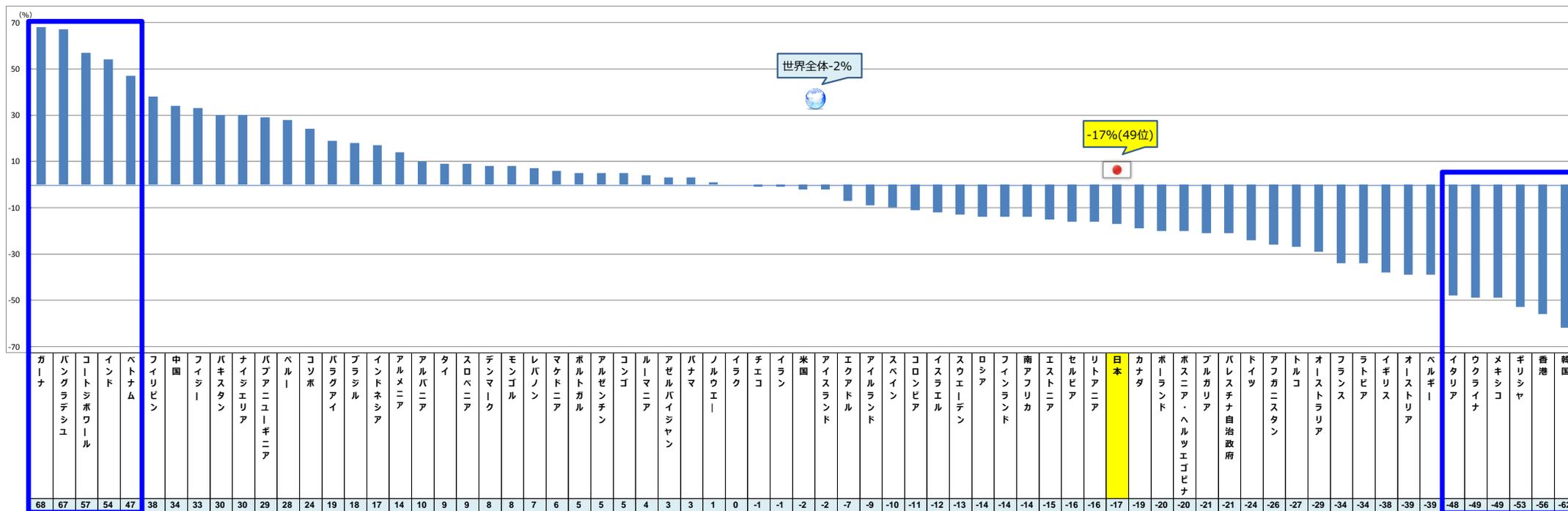
- 自国の2017年の景気が2016年より良くなるかどうか質問したところ、日本では「景気は良くなる」と答えた割合が8%に留まる。
- 世界全体では、「景気は良くなる」「（2017年の景気は）変わらない」「景気は悪くなる」のいずれも3割前後で、景気予想は拮抗している。
- 世界と比較すると、日本では「わからない」の割合が20ポイント近く多く、また「変わらない」も10ポイント多い。
- 「良くなる」と「悪くなる」の差は、世界では差が小さく-2ポイントだが、日本では-17ポイント。

Q 日本（自分の国）では2016年に比べて、2017年の景気が「良くなる」、「悪くなる」、「変わらない」のいずれだと思いますか。（単数回答）

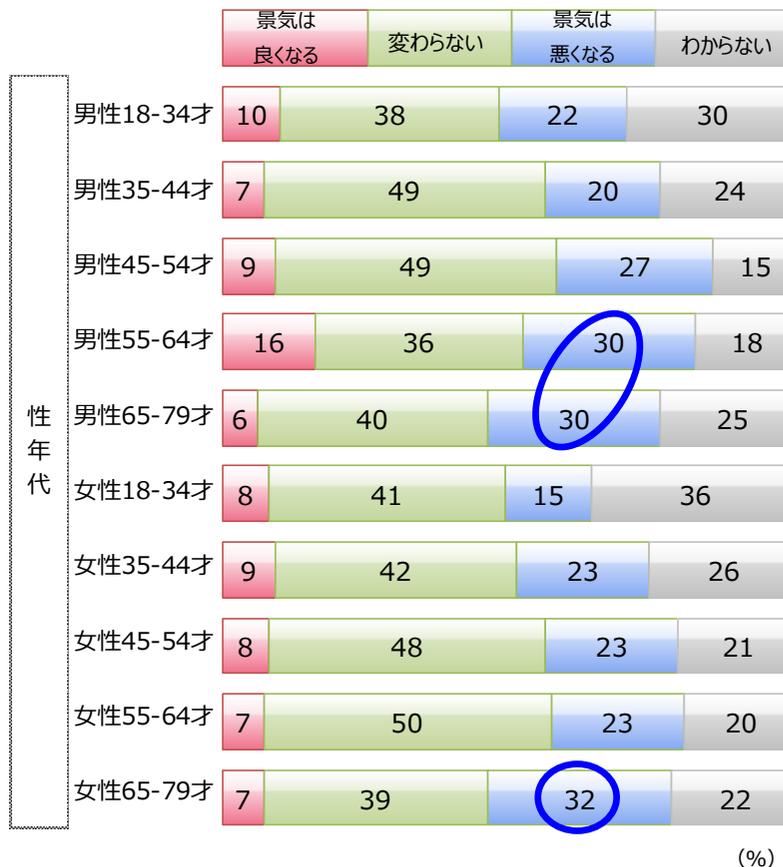
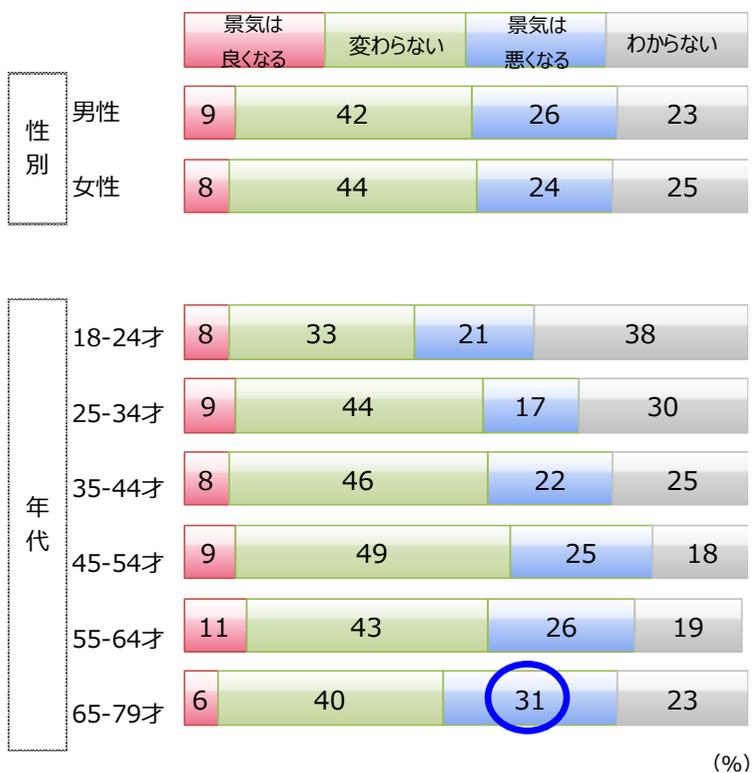
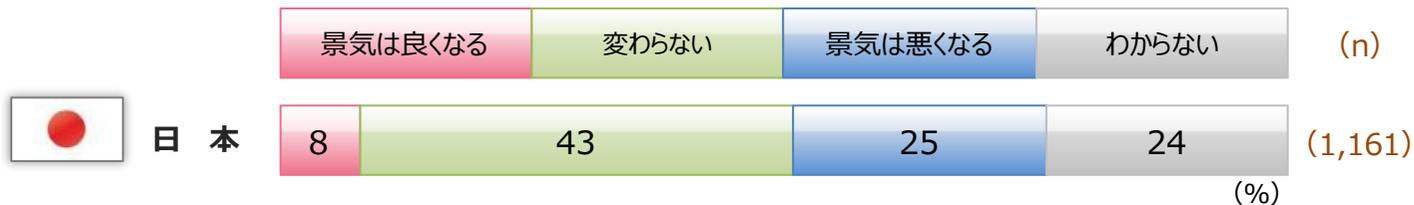


- 2017年が2016年より「景気が良くなる」と「景気は悪くなる」と答えた割合の差の大きい順に並べると、上位5位の国は、ガーナ、バングラディシュ、コートジボワール、インド、ベトナムの順。一方、下位6位の国は、韓国、香港、ギリシャ、メキシコ、ウクライナ、イタリアとなっている。
- 日本は69か国中49位。

■ 各国の「景気は良くなる」-「景気は悪くなる」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）



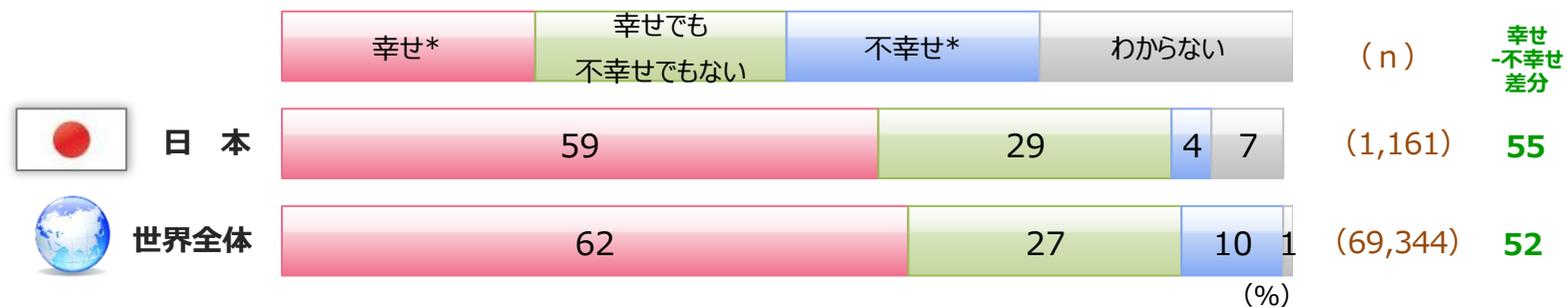
● 日本の結果を年代別にみると、65才以上が、他の年代と比べて「景気は悪くなる」の回答が31%とやや多い。



日本も世界全体も「幸せ*」が同程度で6割前後。

- 人生が幸せかどうか質問したところ、「幸せ*」と答えた割合は、世界全体も日本も約6割と、大差がない。
- 日本では、良い年の見通しや景気予想についてはポジティブな回答が少なかったが、幸せ感では約6割がポジティブな回答を示した。

Q あなたの人生は、「とても幸せ」、「幸せ」、「幸せでも不幸せでもない」、「不幸せ」、「とても不幸せ」のいずれだと思いますか。(単数回答)

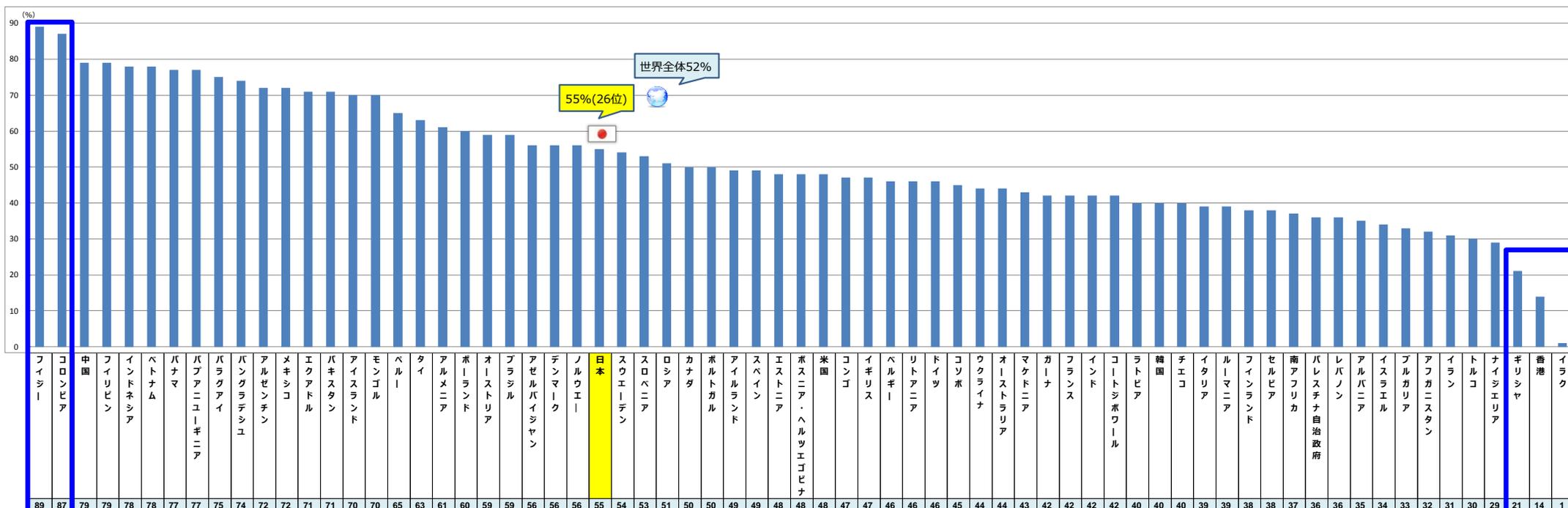


* 幸せ:「とても幸せ」と「幸せ」の計
 * 不幸せ:「とても不幸せ」と「不幸せ」の計

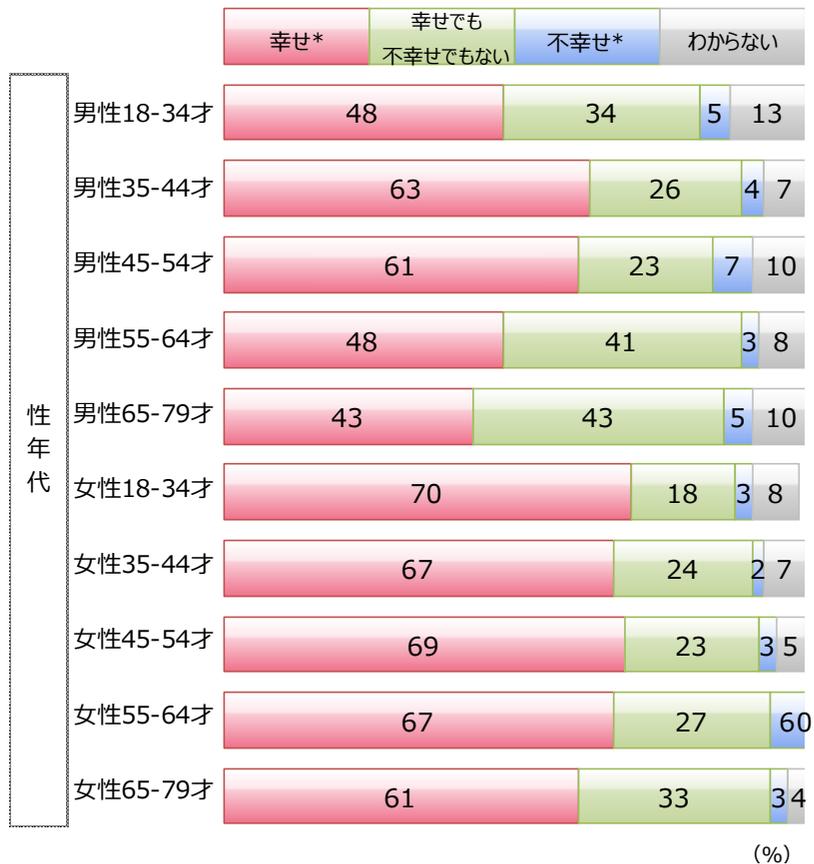
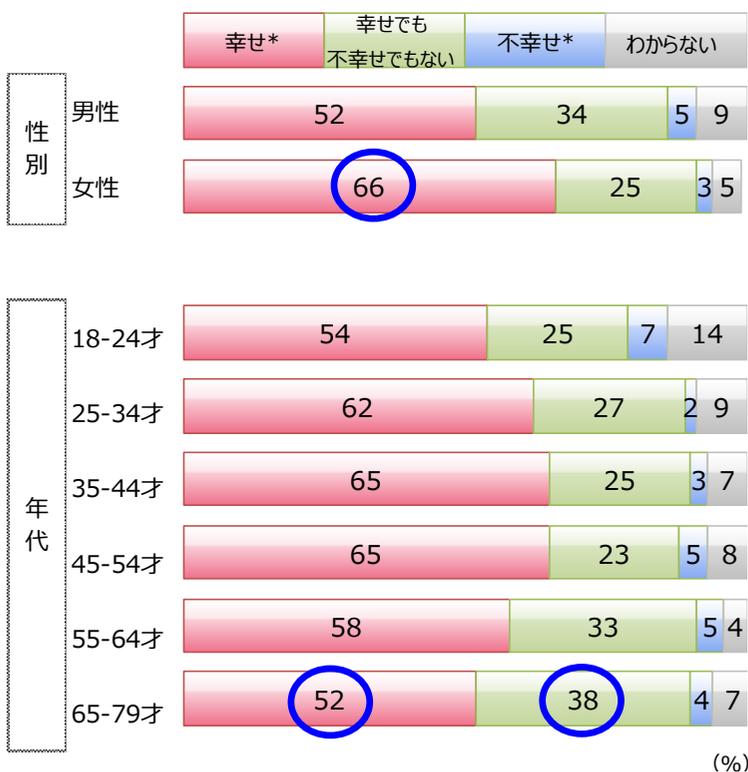
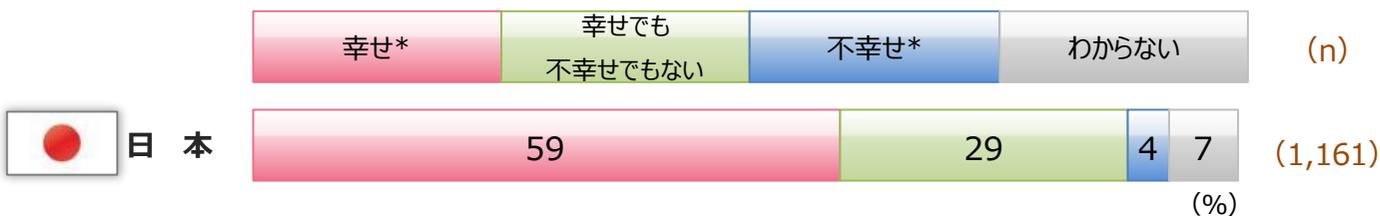
- 「幸せ*」と「不幸せ」と答えた割合の差の大きい順に並べてみると、上位2位の国は、フィジー、コロンビアの順。一方、下位3位の国は、イラク、香港、ギリシャとなっている。
- 日本は、69か国中26位で、世界全体をやや上回る。

■ 各国の「幸せ」-「不幸せ」の回答割合の差（差の大きい順に並べ替え）

* 幸せ:「とても幸せ」と「幸せ」の計



- 日本の結果を男女別にみると、女性は「幸せ*」の回答が66%と、男性より10ポイント以上上回る。
- 年代別にみると、65歳以上で「幸せ*」の割合が少なく、「幸せでも不幸せでもない」が多い。



- 69カ国の内訳と調査手法及び調査サンプルサイズは、以下の通り。

地域	国	手法	サンプルサイズ
アジア	日本	Face to Face	1,161
	インド	CATI	1,225
	インドネシア	Face to Face	1,005
	タイ	CATI	600
	中国	Online	1,150
	パキスタン	Face to Face	2,000
	バングラデシュ	CATI	1,000
	フィリピン	Face to Face	1,000
	ベトナム	Face to Face	700
	モンゴル	CATI	1,021
	韓国	Face to Face	1,500
	香港	Online	500
大洋州	オーストラリア	Online	1,253
	パプアニューギニア	CATI	1,044
	フィジー	CATI	512
北米	カナダ	Online	1,001
	米国	Online	1,001
中南米	アルゼンチン	Face to Face	1,000
	エクアドル	Face to Face	770
	コロンビア	CATI	1,032
	パナマ	Face to Face	1,200
	パラグアイ	F2F/CATI	1,000
	ブラジル	Face to Face	2,002
	ペルー	Face to Face	1,000
	メキシコ	F2F / TAPI	815
中東	アフガニスタン	Face to Face	2,787
	イスラエル	CATI	368
	イラク	CATI	1,000
	イラン	CATI	700
	トルコ	CATI	1,013
	パレスチナ自治政府	Face to Face	540
	レバノン	CATI	1,000
アフリカ	ガーナ	Face to Face	1,000
	コートジボワール	Face to Face	1,000
	コンゴ	Face to Face	1,000
	ナイジェリア	Online	809
	南アフリカ	Online	1,645

地域	国	手法	サンプルサイズ
欧州	アイスランド	Online	1,065
	アイルランド	Online	1,005
	アゼルバイジャン	CATI	507
	アルバニア	Face to Face	1,035
	アルメニア	Face to Face	1,104
	イギリス	Online	1,004
	イタリア	Face to Face	1,059
	ウクライナ	Online	500
	エストニア	Online	500
	オーストリア	Online	1,009
	ギリシャ	Online	1,005
	コソボ	Face to Face	1,031
	スウェーデン	Online	1,034
	スペイン	Online	1,013
	スロベニア	Online	1,013
	セルビア	Face to Face	1,003
	チェコ	Face to Face	1,000
	デンマーク	Online	1,002
	ドイツ	Online	1,006
	ノルウェー	CATI / F2F/Online	996
	フィンランド	Online	1,006
	フランス	Online	1,007
	ブルガリア	Face to Face	820
	ベルギー	Online	1,000
	ポーランド	Face to Face	1,014
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	CATI	1,000
	ポルトガル	Online	1,007
	マケドニア	Face to Face	1,210
ラトビア	Online	1,005	
リトアニア	Online	500	
ルーマニア	CATI	530	
ロシア	Face to Face	1,000	

69か国合計	69,344
--------	--------

- 日本の属性別調査サンプルサイズは、以下の通り。

日本	属性	サンプルサイズ
性別	男性	576
	女性	585
年代別	18-24才	95
	25-34才	160
	35-44才	227
	45-54才	199
	55-64才	183
	65-79才	297
性年代別	男性18-24才	45
	男性25-34才	79
	男性35-44才	118
	男性45-54才	102
	男性55-64才	87
	男性65-79才	145
	女性18-24才	50
	女性25-34才	81
	女性35-44才	109
	女性45-54才	97
女性55-64才	96	
女性65-79才	152	

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室

エンド・オブ・イヤーサーベイ2016 担当

メール：information@nrc.co.jp

TEL: 03-6667-3139(WIN/GIA担当 下瀬川・道広)

本リリースの引用・掲載の際は、必ずクレジットを明記してください。

調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットを掲載してください。